

行政評価シート(事後評価)

コード (25) 4-2-6	事務事業名 体験型農園の設置	所管部課 生活環境部産業振興課(旧市民生活部産業振興課)
-------------------	-------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	市民の農業体験の機会を確保し農業に対する理解を深め、市内における農業の振興及び農地の保全を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input checked="" type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	市内において市民が農作業を体験できる農園(以下「体験農園」という。)を設置するものに対し、体験農園設置に要する経費の一部を補助する。(上限額200万円)	
事業開始時期	17 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)				1,748	
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	その他 ()					
	一般財源		0	1,748	0	0.00
	所要人員(B)	人		0.21	0.04	0.04
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	1,719	326	326
	臨時職員等賃金(C')	千円				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	3,467	326	326
	単位当たりコスト					
	(E)=(D) / (体験農園数)	千円	#DIV/0!	2.00	3.00	3.00

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	体験農園数	実績値	軒		2	3	3
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成18年4月に「芝久保元気村」が開設したので、「トミー倶楽部」、「キタツバラ」と合わせて市内の体験農園数は3軒になった。							
	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一 区画数	目標値	区画			151	177
実績値					141	175	
二 市民の農業に対する理解の向上	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成18年度で「トミー倶楽部」の区画数が86区画で、申込区画数が78区画、平成19年度の区画数が100区画で、申込区画数も100区画。 平成18年度で「キタツバラ」の区画数が45区画で、申込区画数が45区画、平成19年度の区画数が57区画で、申込区画数も57区画。 平成18年度で「しばくば元気村」の区画数が20区画で、申込区画数が18区画、平成19年度の区画数が20で、申込区画数が18区画。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	今後、団塊の世代の問題も含め、農に親しむという市民ニーズが増大していく傾向にあり、その受け皿の一つとして、体験農園がある。一方、農家にとって、この体験農園は生産緑地法にも抵触しないで、農業経営の健全化に結びつき、都市農業経営の一つのやり方である。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	他市では、利用料(西東京市は1区画年間4万円)の補助をしているところもある。昭島市、国立市、小金井市、国分寺市、立川市、多摩市、調布市、東久留米市、東村山市、府中市、町田市、武蔵村山市、西東京市の13市が実施。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	市民農園4箇所、家族農園4箇所

コード (25) 4-2-6	事務事業名 体験農園設置事業	所管部課 生活環境部産業振興課(旧市民生活部産業振興課)
-------------------	-------------------	---------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	2		
直接のサービスの相手方	1		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	3		
市民ニーズの把握	2		
<p>判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等</p> <p>今後、農業体験等の事業については、益々需要は増える傾向にある。現在市内3か所にあるが、今後、無い地域に数ヶ所増やしていく必要がある。また、初めて農作業を体験する人にとって、農作物の作り方等の学習ができ大変有意義であるが、ある程度の経験者にとっては、自由に作付けできないなど不満がある。</p>			

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	2		
直接のサービスの相手方	1		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	3		
市民ニーズの把握	1		
<p>判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等</p> <p>市民農園と異なり、生産地緑地地区を対象とすることが可能であり、今後の一般市民が利用する農園の主たる整備手法として設置を進めていくべきである。一方で、市民ニーズの把握と、ニーズに基づく必要数を設定していない点は、市民農園同様に大きな課題である。ニーズ把握を行いつつ、より計画性を持った整備事業として構築することが求められる。</p>			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、生産緑地地区を対象とすることができ、市民が利用する主たる農園として整備を進めていくことが可能である。</p> <p>今後は、二次評価記載のとおり、市民ニーズの把握を行うことで整備見込数を明らかにするなど、より計画性のある整備事業として進めていかたい。</p>